

### 親子食育教室

2月15日、食健康科学部健康栄養学科と愛知淑徳大学健康相談室が「親子食育教室」を共催しました。子ども向け調理実習、保護者向け講演会、親子揃っての試食会を行い、地域の小学校3・4年生と保護者の方々16組32人がご参加くださいました。

企画・運営の主体となった健康栄養学会有志の学生たちは、栄養価だけでなく、安全に楽しめる作業工程、盛り付けなどにも配慮し、華やかなひな祭りメニューを考案。さらに、食への興味を広げるクイズや展示物も用意しました。子どもたちや保護者の方々の笑顔があふれる食育イベントを形にし、管理栄養士をめざす学生にとって貴重な学びの機会となりました。



### 食健康科学部教授・吉田久美先生が日本学士院賞を受賞

食健康科学部食創造科学科教授・吉田久美先生の研究「アントシアニンによる青色花色発現機構の研究」が、日本学士院賞を受賞しました。日本学士院賞は、明治43年に創設され、学術上特に優れた論文、著書、その他の研究業績に対して贈られるもので、日本の学術賞としては最も権威ある賞です。

吉田先生は、花の色素であるアントシアニンの構造を解明し、有機化学と植物生理学を融合させた研究に取り組んできました。この度、「多くの花々について青色花色の色素の精密な化学構造を解明し、発現調節機構の多様性と普遍性を明らかにした」と高く評価されて、栄えある賞に輝きました。



### 長久手キャンパス10号棟改修工事・建築ANEX棟新築工事及び8号棟改修工事 竣工祭・内覧会

長久手キャンパスでは、教育学部の拠点となる10号棟の改修工事と、建築学部との新築工事及び8号棟の改修工事が進められてきました。2024年度中に各工事が完了し、3月21日に竣工祭が挙行されました。学園・大学の関係者、設計監理や施工を担当した企業の方々が参集し、すべての祭儀が滞りなく執り行われました。

竣工祭の後、内覧会が実施され、本学教職員や愛知淑徳中学校・高等学校の先生方が各棟を見学しました。専門的な教育・研究のための施設、学生同士の学び合いを活性化させる施設など、充実した学修を支える環境に感嘆の声があがっていました。



### 建築・インテリアデザイン専攻 優秀作品展2025

3月4日から9日までの6日間、創造表現学部創造表現学科建築・インテリアデザイン専攻が「優秀作品展2025」を名古屋市民ギャラリー栄で開催しました。展示されたのは、学内で評価が高かった卒業プロジェクトの設計制作14点・論文3編と、1〜3年次の実習課題の優秀作品11点。福祉施設や住宅、展示空間などの設計図面・模型、戦時中の建物疎開に関する論文など、独自の着眼点やアイデア、鋭い考察が光る作品が並びました。

会期中、建築家の畝森泰行氏による「展示作品の審査や講演会も開催。今後の学修・研究、設計制作や、卒業後の進路に活かせる学びの場」となり、学生たちは互いに高め合っていました。



### 高1総合探究 論文発表会

2月13日に高1論文発表会が実施されました。高1は2022年度から新カリキュラムに移行し、高1論文作成は「現代社会」から新設科目「総合探究」に移行しました。論文発表会が高1にとっては膨大な時間をかけて作成した論文の成果を披露する場であり、中3にとつては来年度の論文作成への動機付けとなる重要な機会です。

コロナ禍で論文発表会は縮小を余儀なくされてきましたが、中3生徒・教員・保護者を聴衆として、昨年度より高1全生徒が発表を行うという大きな形での発表会が復活しました。聴衆との質疑応答は、今後の探究活動を深めることにつながります。また、この貴重な経験は社会問題への関心の高まりに加え、進路選択にも役立つと思います。



### 第88回 高等学校入学式

4月8日、穏やかな「淑徳晴れ」のもと、満開の桜に包まれ、愛知淑徳高等学校入学式が行われ、277人の新入生が新たな一歩を踏み出しました。校長は式辞の中で、思考力を一層深めることの大切さ、互いを尊重し、協力して課題に取り組む姿勢の重要性を説きました。そして深い学びと豊かな経験を

を重ねながら、実りある高校生活を築いていくよう新入生を励ました。理事長からも、「何事にも真剣に挑戦し、泣いたり笑ったりしながら、澁刺と伸び伸びと学校生活を送ってほしい」と、温かく力強いエールがありました。真剣な眼差しの新入生たちの姿からは、希望と決意が感じられました。



### 令和6年度マラソン大会

2月5日にマラソン大会が今季最強最長寒波到来のもと、昨年に引き続き、愛・地球博記念公園（モリコロパーク）で行われました。

今回もサイクリングコースを貸し切りにしてのマラソン大会でした。当日は朝、雪がちらつきとても寒い日でしたが、中学1年〜高校2年まで5学年がマラソンを楽しみました。公園内のサイクリングコースは道幅も広く、よく整備されています。その為大きなけがや事故もなく無事終えることができました。生徒の感想では「とても走りやすかった」「楽しかった」「また走りたい」などがあり、とても前向きでした。今後さらに良いマラソン大会が運営できるように、そして生徒一人ひとりの思い出作り・成長の一助となればと考えています。



### イギリス研修

中学3年生から高校2年生までの26人は3月20日より12日間、イギリス研修を行いました。主な目的は6日間にわたるホームステイとキングスレーハイスクールの訪問、そしてオックスフォード大学生によるキャンパスツアーです。様々なルートを持つ学生が共に学び合い、また学びを楽しむ姿に触れ、生徒たちは新たな気づきを多く得ていました。初めは及び腰だったコミュニケーションも、研修後半には英語で積極的に話しかけ、自らの将来を思い描く姿は大変価値のある時間でした。帰国後の学習にも期待が膨らみます。



### 中3 カナダチーム留学

令和6年度から中学3年生の3学期に希望者10人を対象にチーム留学という制度を実施することになり、第1回目を実施しました。

1月19日～3月9日までの2か月弱、カナダのバンクーバー近郊アボツフォードという自然豊かな街で行われました。現地の学校が始まるまでの1週間を利用して語学研修や現地での生活体験となったようです。

の仕方を学んだ後、ホストファミリーと対面し、10人は現地の4つの学校に分かれて留学を経験しました。

学校では積極的に自分から声をかけて友達を作っていたかなければならない中、現地の友達やホストファミリーと過ごす日々の中で少しずつ上達していく自分の英語力を感じる、かけがえのない体験となったようです。



### 令和6年度 中学校卒業式

3月18日、第78回卒業証書授与式が本校大アリーナにて行われ、277人が卒業しました。

校長の式辞では「今抱えている問いや悩みは、あなたの人生の重要なテーマになるはずです。その答えを出せるのは未来のあなたであり、一人ひとりが生涯をかけて答えを探し求めていくことになるで

しょう」と述べられました。

卒業のことばでは「今の日常は偶然と努力が積み重なってできた奇跡。その中で出会えたすべての人に感謝します。この学び舎で培ってきた淑徳魂を人生の糧に輝かしい未来に向かって一歩一歩踏み出していきます」と新しく始まる高校生活への決意が語られました。



### 東海地区私立女子中学校コレクション

3月30日、東海地区初となる私立女子中学校8校による合同説明会が南山中学校女子部にて行われ、1954人の小学生と保護者が参加しました。代表生徒が生徒目線で学校の魅力を紹介する「学校紹介」をはじめ、各校の先生や生徒と交流できる「体験授業」、各校の制服の特徴を紹介する「制服ファッションショー」

ンショー」、入試や学校について質問できる「個別相談」などの企画が充実し、どの会場も大盛況でした。本校の部活動発表ではダンス部の発表時に体育館が満席となり、体験授業では自然科学部の生徒たちが小学生に授業を実施するなど、本校生徒の魅力を伝える好機となりました。

